

事務事業評価表 平成22年度

政策 豊かさ創造性を育む生涯学習環境の充実

施策 生涯学習の充実

基本事業 生涯学習支援体制の推進

事業名 **生涯学習団体支援事業**

[0613]

|    |       |        |      |          |      |
|----|-------|--------|------|----------|------|
| 部名 | 教育部   | 事業開始年度 | - 年度 | 実施計画事業認定 | 対象   |
| 課名 | 生涯学習課 | 事業終了年度 | - 年度 | 会計区分     | 一般会計 |

| 事務事業の目的と成果 |   |
|------------|---|
| 対象         | <p>(誰、何に対して事業を行うのか)</p> <p>江別市生涯学習推進協議会</p>   |
| 意図         | <p>(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)</p> <p>生涯学習社会の実現に向け推進活動を行う団体の活性化を図る。</p>  |
| 手段         | <p>(事務事業の内容、やり方、手段)</p> <p>生涯学習の推進のための活動を行う団体の事業運営(市民主体の団体育成、学習支援のための講座や会員活動発表会の開催、情報誌の発行、HPの運営等)に対し補助金を交付する。</p> |

| 事業量・コスト指標の推移         |        |           |              |              |              |              |
|----------------------|--------|-----------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 区分                   |        | 単位        | 19年度実績       | 20年度実績       | 21年度実績       | 22年度当初       |
| 対象指標1                | 協議会会員数 | 団体        | 69           | 71           | 73           | 71           |
| 対象指標2                |        |           |              |              |              |              |
| 活動指標1                | 補助金額   | 千円        | 1,000        | 1,000        | 1,000        | 1,000        |
| 活動指標2                |        |           |              |              |              |              |
| 成果指標1                | 事業参加者数 | 人         | 1,449        | 2,756        | 1,850        | 1,500        |
| 成果指標2                |        |           |              |              |              |              |
| 単位コスト指標              |        |           |              |              |              |              |
| 事業費計(A)              |        | 千円        | 1,000        | 1,000        | 1,000        | 1,000        |
| 正職員人件費(B)            |        | 千円        | 2,094        | 1,672        | 1,245        | 1,249        |
|                      |        |           |              |              |              |              |
| <b>総事業費(A) + (B)</b> |        | <b>千円</b> | <b>3,094</b> | <b>2,672</b> | <b>2,245</b> | <b>2,249</b> |

| 費用内訳 |                     |
|------|---------------------|
| 21年度 | 負担金 補助及び交付金 1,000千円 |

## 事業を取り巻く環境変化

|        |  |             |   |
|--------|--|-------------|---|
| 事業開始背景 |  | 事業を取り巻く環境変化 | 発足当初は、法人化も念頭においた設立であったが、財政状況や社会環境の変化に伴い、停滞的な傾向にある。現代的な問題点を発見し、学習成果をその解決に生かす生涯学習の取組は、協働のまちづくりを目指すべく人づくりの核となるものであり、今後も継続した対応が必要である。 |
|--------|--|-------------|---|

## 21年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

- 義務的事務事業
- 妥当である
- 妥当性が低い

理由・  
根拠は？

地域課題を見つめ直し、多様な学習活動を通してこれを深め、それを活用できる人材形成に必要な取組を行っている協議会の果たす役割は大きい。

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

- 貢献度大きい
- 貢献度ふつう
- 貢献度小さい
- 基礎的事務事業

理由・  
根拠は？

生涯学習活動の必要性や重要性を市民に広めてきた貢献度は大きい。今後も学習成果を評価し、これを生かす仕組みづくりのために協議会の存在価値は大きい。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか？

- あがっている
- どちらかといえばあがっている
- あがらない

理由・  
根拠は？

関係団体の加盟をより一層促進し、団体活動の積極的な展開に必要な支援や学習相談、情報提供機能を強化していく必要がある。

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

- 成果向上余地 大
- 成果向上余地 中
- 成果向上余地 小・なし

理由・  
根拠は？

加盟団体間の連携をより一層促進していくことにより、学習機会の提供や学習事業の企画など活発な活動が期待できる。  
・HPの活用による会員や市民への迅速かつ効果的なPR活動などが促進されることにより、協議会の存在意義が高まり、自主活動の活発化が見込まれる。

(5)現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

- ある
- ない

理由・  
根拠は？

加盟団体間の連携強化を図り、徐々に活動の自立化に向っていることから、事業推進に必要な補助金の急激な削減は、活動の停滞につながる可能性が高い。